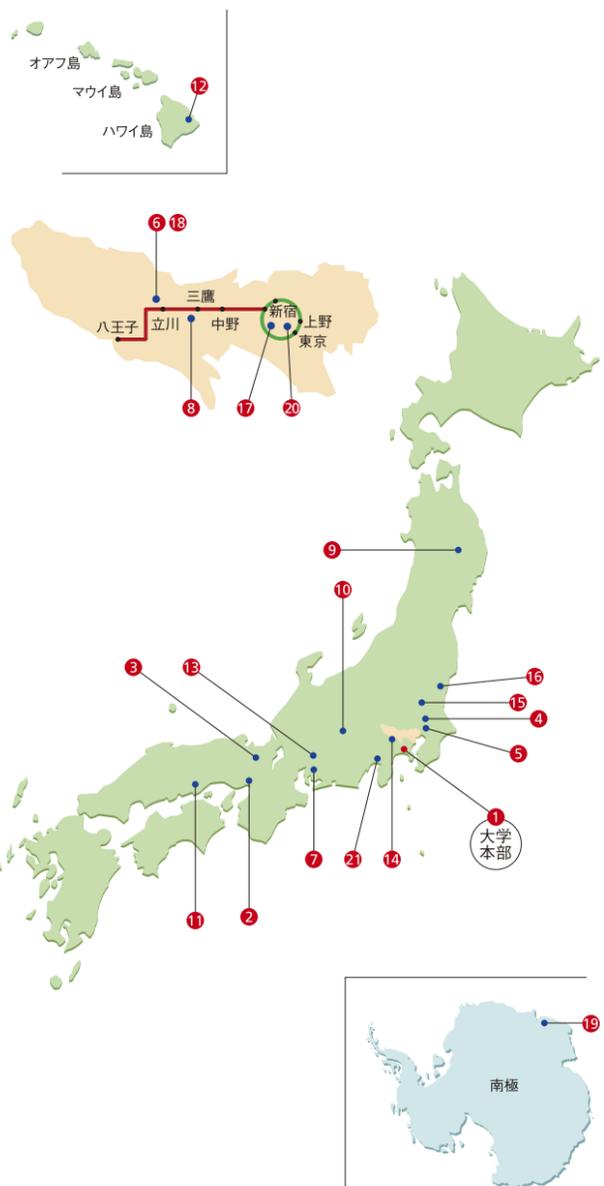


総合研究大学院大学の概要

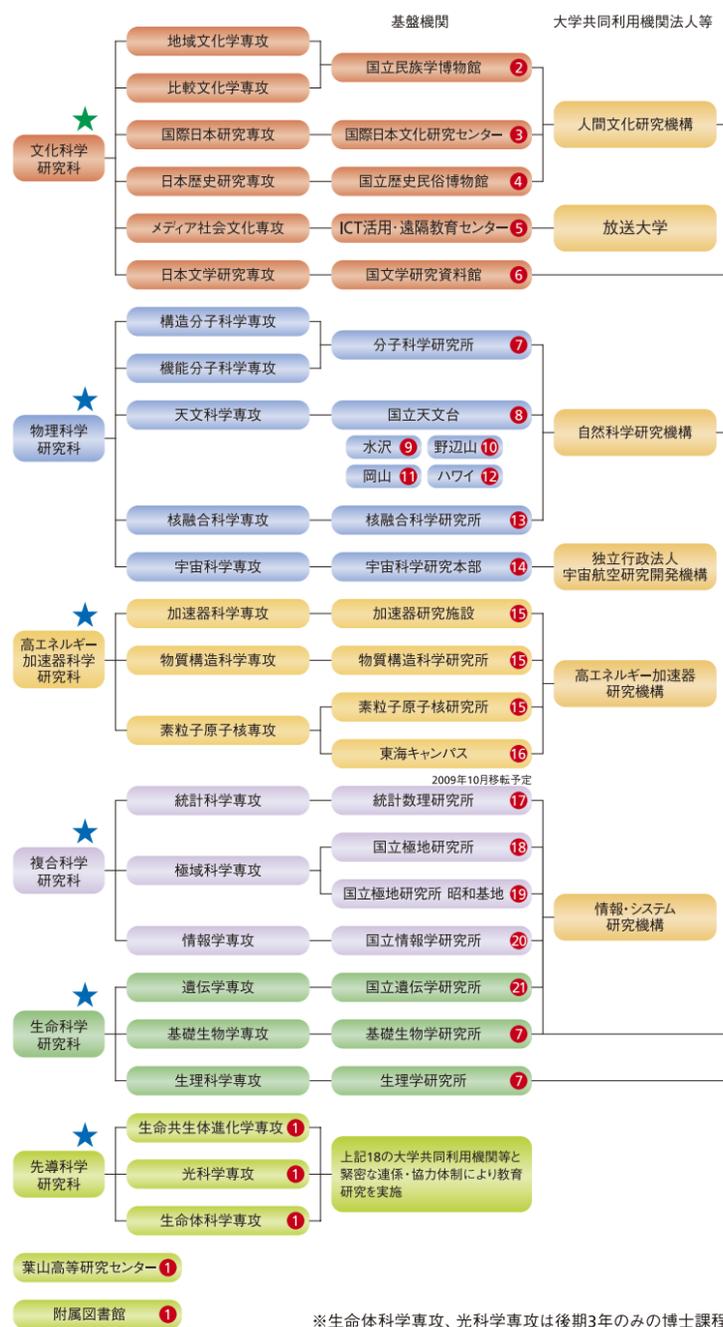
総合研究大学院大学(総研大)の基盤は大学共同利用機関です。大学共同利用機関は日本が世界に誇るトップレベルの研究組織で、各種の大型の実験・観測施設および学術資料を保有しています。国内外の大学研究者が共同で利用できる国際的な研究拠点でもあり、多様な研究者集団と接する研究環境がつくられています。

総研大では、学生1人に対し教員数は2~3人という充実した体制で博士教育をおこなっており、その期間についても5年一貫のフレキシブルな制度を取り入れています。



★ 後期3年だけの博士課程

★ 5年一貫制博士課程 / 後期3年博士課程



※生命体科学専攻、光科学専攻は後期3年だけの博士課程

SOKENDAIピックアップ 2009年3月~2009年8月

※トピックスの詳細は<http://www.soken.ac.jp/education/journal/no.16/no.16.html>で紹介しています。

地域文化学・比較文化学専攻 ② 国立民族学博物館では、特別展「千家十職 × みんなく：茶の湯のものづくりと世界のわざ」を開催し、4万5419人の観覧者が訪れた。

日本歴史研究専攻 ④ 縄文・弥生・古墳時代の開始年代など、炭素年代測定による高精度編年体系の研究が注目を集めている。

メディア社会文化専攻 ⑤ ミクストリアリティ技術を応用した古生物の展示システムを近藤智嗣准教授らが開発し、国立科学博物館で実証実験を行った。

日本文学研究専攻 ⑥ 国文学研究資料館では、人間文化研究機構連携展示「百鬼夜行の世界」を開催、多くの観覧者が訪れた。

構造分子科学専攻 機能分子科学専攻 ⑦ 分子と金属イオンを用いて理想的なエネルギー変換ナノ構造場「メソ多孔性炭素ナノデンドライト」を創成した。

天文学専攻 ⑧ 約130億年前に誕生した“化石”星に、宇宙初期の特殊な超新星爆発による元素合成の痕跡を見いだした。

核融合科学専攻 ⑬ 磁力線再結合の挙動を長時間追跡する上で重要な開放系条件を満たす高精度な粒子コード開発に成功した。

宇宙科学専攻 ⑭ X線天文衛星「すざく」は、打ち上げから4年を経たが、TeVガンマ線を放射する連星系の発見など、着実に成果をあげている。

加速器科学専攻 ⑮ 高エネルギー加速器研究機構(KEK)と日本原子力研究開発機構(JAEA)が共同で建設を進めてきた、J-PARC施設の完成式典が行われる。総研大学生も大いに寄与。

統計科学専攻 ⑰ 世界一の歴史を誇る継続社会調査「日本人の国民性調査」(1953年開始、5年ごと)の第12次調査(2008年)の結果を公表。

極域科学専攻 ⑱ 南極氷床下に1400万年間凍結保存されてきた、氷床形成初期の水河地形を明らかにした。

情報学専攻 ⑳ ICTを利用したサプライチェーンのCO₂排出量削減手法の実証実験を開始した。

遺伝学専攻 ㉑ 大腸菌のすべてのタンパク質をそれぞれ試験管内で発現し、その可溶性と合成量を纏めたデータベースを公開した。

基礎生物学専攻 ㉒ 基礎生物学研究所がマックス・プランク植物育種学研究所(ドイツ)と学術交流協定を締結。

生理学専攻 ㉓ 岡崎カンファレンスセンターで第40回生理研国際シンポジウム「アニオン輸送と細胞容積調節」を開催した。